

(総務省) 令和6年度指定補助金等に係る研究開発の成果の概要

① 革新的情報通信技術 (Beyond 5G(6G))基金事業に係る委託費及び補助金 (一般)

研究課題名	採択者名	採択公表日	事業終了日	研究開発成果の概要
Beyond 5G 超大容量無線ネットワークのための電波・光融合無線通信システムの研究開発 (副題: 超大容量超低遅延無線のための電波/光変換・制御技術)	国立大学法人三重大学、株式会社日立国際電気 (～2024.12.26)、株式会社国際電気 (2024.12.27～)、株式会社京都セミコンダクター (～2024.3)、デクセリアルズフォトニクスソリューションズ株式会社 (2024.4～)、株式会社KDDI総合研究所、東洋電機株式会社	2021/7/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
Beyond 5G次世代小型衛星コンステレーション向け電波・光ハイブリッド通信技術の研究開発 (副題: 次世代 LEO 通信コンステレーション構築に向けた超小型・低コスト電波・光ハイブリッド通信システムおよび通信制御システムの研究開発)	株式会社アクセルスペース、国立大学法人東京大学、国立大学法人東京工業大学 (～2024.9)、国立大学法人東京科学大学 (2024.10～)、株式会社清原光学	2023/10/3	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
Beyond 5G時代に向けた空間モード制御光伝送基盤技術の研究開発	日本電信電話株式会社、住友電気工業株式会社、日本電気株式会社、古河電気工業株式会社、学校法人千葉工業大学 (～2024.3)	2021/10/4	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
スマートモビリティプラットフォームの実現に向けたドローン・自動運転車の協調制御プラットフォームの研究開発	KDDI株式会社、アイサンテクノロジー株式会社	2021/10/4	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
遅延・自律性を実現するフローティングサイバーフィジカルシステムと広域連携の研究開発	国立大学法人九州工業大学、株式会社KDDI総合研究所	2022/8/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
City as a Serviceを支えるデジタルツインを持続可能な状態で自己成長させるエコシステム	学校法人早稲田大学、学校法人芝浦工業大学、学校法人片柳学園東京工科大学、株式会社ガイアックス、学校法人福岡大学	2022/8/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
リアルタイム暗号技術とプライバシー保護への拡張	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学、GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社	2022/8/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
会話AIエージェントとの高臨場感インタラクション体験実現のためのXR通信基盤の研究開発	株式会社エキエムノボリス	2022/8/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
多重自律マイクロモビリティのためのハイパーデジタルツイン基盤	株式会社ハイパーデジタルツイン、学校法人芝浦工業大学	2022/8/5	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-programs/
次世代大容量小型宇宙光通信システムの技術に関する研究開発プロジェクト	ソニーグループ株式会社	2023/11/6	2025/3/31	量産化可能な次世代小型宇宙光通信ターミナルの技術検討を行い、量産試作プロトタイプ的设计を進めるとともに、関連設備の一部を作製した。
Beyond 5G 超大容量無線通信を支える空間多重光ネットワーク・ノード技術の研究開発	国立大学法人香川大学、株式会社KDDI総合研究所、日本電気株式会社、sante c AOC株式会社、古河電気工業株式会社	2024/2/9	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-program02/r6.html

高速大容量データ転送を実現する革新的ハードウェア技術の研究開発	国立大学法人東京工業大学（～2024.9）、国立大学法人東京科学大学（2024.10～）、富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社、古河電気工業株式会社、古河ネットワークソリューション株式会社	2024/2/9	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-program02/r6.html
行動変容と交通インフラの動的制御によるスマートな都市交通基盤技術の研究開発	国立大学法人東京大学	2024/2/9	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-program02/r6.html
Beyond 5G通信インフラを高効率に構成するメトロアクセス光技術の研究開発	三菱電機株式会社、株式会社KDDI総合研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人大阪大学、公立大学法人大阪 大阪公立大学	2024/2/9	2025/3/31	国立研究開発法人情報通信研究機構のHPで公表 https://b5g-rd.nict.go.jp/f-program02/r6.html

② スタートアップ創出型萌芽の研究開発支援事業に係る補助金

研究課題名	採択者名	採択公表日	事業終了日	研究開発成果の概要
ステルスタグ検出ベータ機の試作	アーカイルス株式会社	2024/7/11	2025/1/31	経済安全保障に資する真正性保証技術として、2～6 cmのロングレンジで焦点合わせを行わずにナノタグからの波形署名を読み取る検出器を試作した。初めて扱う者でも訓練なしに検出できることを確認した。
セクシャルウェルネスアプリによるビッグデータプラットフォーム	株式会社Unwind	2024/7/11	2025/1/31	セクシャルウェルネス領域におけるユーザーニーズの検証とデータ収集を目指し、ベータ版アプリケーションのリリースおよび機能改善を実施。プレミアム機能の設計と収益化基盤を確立した。
待ち侘びる時間が価値になるweb3アプリ Mati-wabi	MeTown株式会社	2024/7/11	2025/1/31	社会課題の一つである「待ち時間」に着目し、待ち時間をかけがえのないデジタル資産に変換するアプリケーションを開発することで社会課題解決を目指し、事業内でアプリ開発を行い、実証実験を実行した。
ビジネスパーソン向けパーソナライズAI 英会話アプリ「DAIAL」	株式会社ファオクテクノロジー	2024/7/11	2025/1/31	AI英会話アプリ「DAIAL」のプロトタイプ完成を目指し、事業内でアプリのデザイン及び開発を行い、実装した。
国際物流可視化における独自予測アルゴリズムの研究開発	ハービット株式会社	2024/7/11	2025/1/31	大手荷主およびフォワーダーの国際物流業務における高精度な到着・遅延予測を実現する独自アルゴリズムの実装を目指し、事業内でアルゴリズムに使用する各種ロジックの構築および実績データを用いた評価・改良を実施、弊社システムへの実装を完了した。
飲食店における顧客体験を一段深く、小売業界では当たり前な情報管理を飲食業で実現させる	株式会社Speria	2024/7/11	2025/1/31	顧客データ基盤を構築し、注文ツールとメッセージ自動化ツールを開発。既存顧客の月間リピート率2.5%達成しクライアント店舗の売上高50万円増加させることに成功した。
お寺の継承問題解決に向けた事務管理ICT化促進に関する機能・仕様等の研究	株式会社TERA Tech Inc.	2024/7/11	2025/1/31	お寺の次世代への継承問題の解決に向けた寺務課題の解決を目指し、お寺で勤めている住職または副住職、その妻や寺務関係者などにアンケートおよびインタビュー調査を行い、仮説検証を行った。また知的財産権の申請を実行した。

浄化槽の遠隔監視でインフラの管理を効率化	株式会社Nocnum	2024/7/11	2025/1/31	浄化槽専用の遠隔管理IoTセンサーの社内生産・設置の検証を実施、基本的な構造や通信規格を決定。また、量産に向けて外注先に検証内容に基づいて試作を依頼し2025年度の販売に向けて準備を進めた。また、台帳機能ソフトウェアの開発を実施。一部機能の提供を開始した。
全身検索性画像診断AI技術を用いた外傷による致死的活動出血検出AIシステムの開発と実装	株式会社fcuro	2024/7/11	2025/1/31	全国の救命センターから収集した症例を用いて、全身のあらゆる出血を高精度で検出できるAIシステムを開発した。また、医療現場の医師が本システムを用いることによって、迅速かつ正確に出血を発見できることを実証した。
自動運転機能をアウトソースする新発想でマイクロモビリティの自動運転を実現する	株式会社ハイパーデジタルツイン	2024/7/11	2025/1/31	リアルタイム性があるマイクロモビリティ及びロボットの自動運転の実現を目指し、事業内でエッジコンピューティングにおける処理と通信の高度化を目指して開発を進めた。その結果事業前と比較してはるかに低遅延かつ複数台同時での自動運転を実現した。
最強のホワイトハッカーAIによる次世代サイバー防衛	AironWorks株式会社	2024/7/11	2025/1/31	訓練対象組織に関連した情報を自動収集システム及び高度な標的型メール訓練用文面の自動生成システムの高度化に向けた研究開発を行い、その双方について、機能の拡張及び性能の向上を達成した。
気球を用いた宇宙遊覧サービスの実現	株式会社岩谷技研	2024/7/11	2025/1/31	宇宙遊覧サービスの実現に向け、テレコントロールシステムの実装及びシステムのスタンダアロン化を行った。両機能とも実装及び動作確認試験を完了した。
量子耐性を持ったブロックチェーンネットワークによる分散型金融サービスの開発	株式会社Blocq, Inc.	2024/7/11	2025/1/31	量子耐性を持つブロックチェーンネットワークの開発を目指し、事業内で量子耐性ウォレットの開発と量子アルゴリズムの開発を含む技術革新を推進し、分散型金融サービスにおけるセキュリティの向上を実現した。
AI×越境EC ワンクリックで海外で買い物！簡単に世界から買い物しよう！	株式会社SAZO	2024/7/11	2025/1/31	株式会社SAZOが開発および運用する越境ECxAIプラットフォーム「SAZO」において、事業拡大およびプロダクトのアップデートを目指し、新規AI機能開発として商品検索機能の改善、物流におけるAI機能の新規開発を行った。
推し活から始める物々交換CGMとマッチング検索アルゴリズムの開発	株式会社トレポータル	2024/7/11	2025/1/31	推し活市場の活性化を目指し、グッズ交換・フリマプラットフォーム「トレポータル」を開発・運営。安全で円滑な交換体験を提供し、ユーザー数と投稿数の増加を達成した。またマッチング機能の礎となる画像認識機能を開発した。
屋内ARクラウドサービスIndooARの研究開発と実証	株式会社Nefront	2024/7/11	2025/1/31	建物に紐づく情報を空間的に管理するシステムである屋内ARクラウドサービスIndooARの社会実装を目指し、建物の修繕情報や備品の管理で活用するための機能拡充を行い、試験的な施設への実装を行った。

シースルー型ARグラスに遠隔手話通訳映像や字幕を投影する新形態の補聴器の開発	那珂 慎二	2024/7/11	2025/1/31	AR 技術を活用した補聴デバイス「補聴グラス」の実現に向けて取り組んだ。昨年度のユーザーヒアリングでのフィードバックに基づき、会話内容を手話通訳映像・字幕に変換したものを立体空間に表示することで、目の疲れやAR 酔いなど身体的影響を軽減し、日常のかつ長時間の利用を可能にするべく開発を進めた。
VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器の開発	InnoJin株式会社	2024/7/11	2025/1/31	バーチャルリアリティを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器(本製品)ならびに軽量化・小児の瞳孔間距離に適した世界初の小児用ヘッドマウントディスプレイ(HMD)の開発を目指し、事業内で本製品の効果に関わる特定臨床研究のプロトコル策定及び小児用HMDの仕様策定を達成した。
～世界から「失明」という言葉 を無くすために、眼科領域にお けるAI医療機器プログラム SaMDを社会実装～	DeepEyeVision株式会社	2024/7/11	2025/1/31	緑内障早期診断を目指し、OCT画像から3次元AIで24度・10度視野を推測するシステムを開発。臨床検証によりHFAとの高い相関性(0.92～0.95)と低ばらつきを実証し、検査時間短縮と診断精度向上を達成した。
犯罪予測AIとロボット警備の実 用化に関する研究開発	株式会社Singular Perturbations	2024/7/11	2025/1/31	当社が開発した犯罪予測システム「CRIME NABI」に対して、更に現場での利便性を高めるためにシステムやアプリ機能のアップデート開発を行った。
VRを用いた自律訓練法による 慢性疼痛（痛覚変調性疼痛）の 軽減	株式会社xCura	2024/7/11	2025/1/31	脳波を計測することで、セラビアVR特有の鎮静効果の実現に成功した。
AI建築家「U-DAKE」 いつでも どこでも 誰でも 家作りがで きる未来へ	株式会社U DAKE	2024/7/11	2025/1/31	AI 建築家U-DAKE を駆使した学生設計コンペ「U-DAKE カップ」を企画し、スポンサー候補を獲得できた。資金調達に向けてピッチ資料のブラッシュアップを伴走支援機関であるVCと行った。